



JICA 海外協力隊 2021 年 1 次隊

ナミビア 小学校教育

ウサコス エロンゴサ小学校

川畑 舞



第 18 「UNFPA による活動」号

(2022 年 10 月発行)

UNFPA による「尊厳キット配布」活動

今回は、UNFPA による尊厳キット配布活動の様子についてお伝えします。

世界には、**国連（国際連合）**という「国際の平和及び安全を維持する」為に活動している組織があります。(国連組織図 参照)

国際連合組織図	UNFPA のプロジェクト

そして、その中に **UNFPA（国連人口基金）**という「全ての妊娠が望まれ、全ての出産が安全に行われ、全ての若者の可能性が満たされること」を理念に掲げて活動している機関があります。今回、その UNFPA が日本政府の支援を受けて実施している「**Leaving No One Behind（誰も取り残さない）**」というプロジェクトの遂行に JICA ボランティアとして協力させていただきました。プロジェクトの具体的な内容は以下の通りです。

- ① 母子保健やジェンダーに基づく暴力 (GBV) 予防・対応サービスへのアクセス向上
- ② ライフスキルの習得、GBV 予防/対応に関する情報入手
- ③ 尊厳キットなどの必要な備品提供

このプロジェクトの内、③の「**尊厳キットなどの必要な備品提供**」をエロンゴサ小学校の 7 年生の女子児童に行いました。

尊厳キットの配布式では、前半に女性の月経についてのワークショップ、後半に尊厳キットの配布を行いました。月経のワークショップでは、月経についての知識（身体的・精神的・社会的変化、月経の仕組み・周期、適切な処理方法など）や月経になって誰かに相談するのは恥ずかしいことではないということなど、児童がこれまでに抱えていた悩みを解決したり、児童の月経に対するマイナスなイメージを減らしたりすることができるように取り組みました。そして、後半の尊厳キットの配布では、尊厳キットの内容を紹介した後、児童が一人ずつ前に出てキットを受け取りました。

今回の活動をきっかけに、女子児童の月経に対する不安や悩みが軽減され、大人になっても女性として自分の身体に誇りをもって生きていってくださることを願います。

ワークショップの様子



尊厳キット紹介の様子



尊厳キット配布の様子



大喜びの子供たち



みんなで記念撮影



日本への感謝を込めて



※尊厳キットの内容

- ①生理用品
- ②衣類用石鹸
- ③衣類用洗剤
- ④フェイスタオル
- ⑤下着
- ⑥歯磨き粉
- ⑦歯ブラシ
- ⑧腰巻布

※自然災害や戦争など緊急下において、女性は生理用品など衛生用品の確保が難しく、ストレスにさらされやすい状況にあります。その中でストレスに対処し、女性が自信や自尊心を取り戻せるようにということで、「尊厳キット」と名付けられています。